

夢づくり協働推進事業の実施状況 12

事業名

夢づくり新見健やかネット会議

事業の概要

夢づくり新見健やかネット会議で栄養委員や愛育委員等の枠を超えた幅広い各種団体と関係機関と行政が協働して、食育やメタボリックシンドローム予防等の積極的な取り組みを行い、地域の健康づくりを推進し、地域住民への健康増進の意識啓発を図った。

協働の主体、役割分担

協働の主体	役割分担
夢づくり新見健やかネット会議 (備北保健所新見栄養改善協議会)	構成団体との情報交換 地区の各組織との連携で事業実施
備北保健所新見支所 備中県民局新見地域保健課	運営会議、企画立案

実施状況

1 夢づくり新見健やかネット会議 (2回)

小中校長会・JA 阿新女性部・老人クラブ・PTA 連合会・保育所研究会・幼稚園教育研究会・にいま農業後継者クラブ・栄養改善協議会・愛育委員会・環境衛生協議会・小中養護教諭代表・共生高校養護教諭・栄養教諭等で構成し、行政と協働して新見地域での食育推進の進め方や課題についての検討を行った。

- (1) 第1回会議：平成21年9月9日(火)
- (2) 第2回会議：平成22年2月23日(火)



ネット会議

2 各種研修会や講習会・街頭等での食育の普及啓発

各地域で行われる研修会や講習会等で食育についての啓発を図る。

- 街頭普及啓発 3回 (食育月間及び食育の日のパンフ配布等)
- ・新見駅前 平成21年5月29日 200セット
 - ・サンパーク新見 平成21年6月16日 400セット
 - ・フレスタ新見 平成21年10月9日 200セット



サンパーク新見での街頭普及



新見駅前

3 食育講座

朝食大作戦（親子料理教室）保育園や幼稚園・小学校等と連携を図り、毎日食べよう 朝食大作戦を中心に食育を推進した。また、バランスの乱れが激しい若い世代の高校生や短大生を対象に食育講座を実施した。

- (1) 親子料理講座 10 回
- (2) 共生高校高校 1 回 26 名 平成 21 年 10 月 20 日
- (3) 新見短期大学 1 回 25 名 平成 21 年 11 月 5 日



講座状況



親子料理講座

4 すこやかかるた大会（8会場）

健康づくりをテーマとして作成した「健康21すこやかかるたを用いてかるた大会を開催し、子供等とのふれあいや地域での交流を深めた。

- 8会場実施 348人
- ①新見地区②蚊家地区③萬歳地区
- ④大佐地区⑤上市福本地区⑥菅生地区
- ⑦上市地区⑧哲多地区



すこやかかるた

5 食育フェア・ミニ食育フェア

食育に関する催し物を各会場で実施し、地域住民に食育の普及啓発を図る。

- *食品の釣り堀ゲーム（食品の役割）・お箸ゲーム・野菜ばかりゲーム
- だしあてゲーム・展示等



シガーライター



釣り堀ゲーム

- (1) 食育フェア 3会場
 - ①共生高校 平成21年 9月5日 参加数 延143名
 - ②歯科衛生展 平成21年11月8日 参加数 延268名
 - ③新見エコフェスタ 平成21年11月15日 参加数 延488名
- (2) ミニ食育フェア 4会場
 - ①夢すき公園：10月25日 120名
 - ②正田ふれあいセンター：11月15日 127名

- ③丸大店頭：平成21年11月18日 85名
 ④哲多総合センター：平成21年3月7日 30名

6 食農体験

新見市の特産物を知ってもらうクイズとその試食

- 山村開発センターでの青空市 平成21年10月12日 100名
 JA阿新Aコープでの農協祭 平成21年10月17日～18日 300名

7 メタボリックシンドローム予防講座（運動）

健康運動指導士による運動の実践

平成21年10月～平成22年2月

8会場 294名

- ①上市地区②福本地区③新見地区
 ④哲多地区⑤井倉地区⑥大佐地区
 ⑦哲西地区⑧新砥地区



運動の様子

8 栄養成分表示店（22年2月末）

- (1) 平成21年度登録数 1店舗
 (2) 現在登録数45店舗（今までに5店舗廃止数に含まず）

9 禁煙実施施設数（22年2月末）

- (1) 平成21年度認定数 11施設
 (2) 平成21年度継続施設数 17施設
 (3) 現在認定数 117施設

成果・課題

1 ネット会議で事業の現状報告と今後の活動についての情報交換等を行い、活発な情報・意見が交わされ、今後のネット会議の取り組みについて討議した。

（主な意見）

- ・ネット事業を通じて、各種団体と交流する機会が増えるとともに参加団体が食育や健康づくり等の意識が変化した。
 - ・今まで交流がなかったような団体が積極的に参画するなどし、そのノウハウが各々の団体の活動にも活かされている。
 - ・今後もこのような交流の場が是非ほしいとの声が多数あった。
 - ・会議の中で話し合いができ、事業によっては、関係者との連携ができやすくなった。
- このことから、来年度以降についても同様の情報交換の場を設けることとした。

2 岡山県食育推進計画や新見市健康増進計画が策定されたので、この計画をふまえて子供から大人までのネット事業として、食育フェアやすこやかかるた大会等を実施し、地域の食育や健康づくりの普及啓蒙が図れた。

3 ネット事業を実施するにあたり、地域で各種団体と地域推進協議会を開催し、地域住民と健康づくりのコミュニケーションが図られた。

4 今までに作成した教育資材や普及啓発媒体を地域の食育や健康づくり等の催しに貸出有効に活用されている。

5 食育フェア等では、食に関する展示や食のゲーム等で改めて食生活の大切さを再認識する人が多かったので、今後もこのような事業は推進していく必要がある。

6 メタボリックシンドローム予防講習会では、市内の健康増進施設のげんき広場にいみと提携し、地域で講習会を実施したところ、受講者はこれからの健康増進に役に立つと好評であった。、今後は自分の健康増進を図り、受講していない人への啓発もしたいという人が多かった。

7 ネット事業を実施した地域へ、今後のネット事業への取り組みのアンケートを実施したら、ほとんどの地域は、今後も一部の事業をしたいといっている地域が多くあったので、今まで積み上げた効果だと思われる。